

報道関係者 各位
プレスリリース

2022年10月21日
a2network 株式会社
代表取締役：門田 朗人

3社SIMが使える、通信障害に強い〈スカイベリー pro〉を10月12日～14日オフィス・防災EXPOにて一般初公開
～アンケート調査により来訪者の74%が通信のBCP対策取り入れを検討～

日本及びアジア、ヨーロッパでモバイルサービス事業を展開する a2network（エイツーネットワーク）株式会社（以下、a2network、所在地：東京都港区、代表取締役：門田朗人）は、2022年10月12日（水）～10月14日（金）で開催された、オフィス・防災EXPOに出展し、国内携帯大手3社のSIMを標準装備した《スカイベリーpro》を一般初公開致しました。



〈展示会中の様子〉



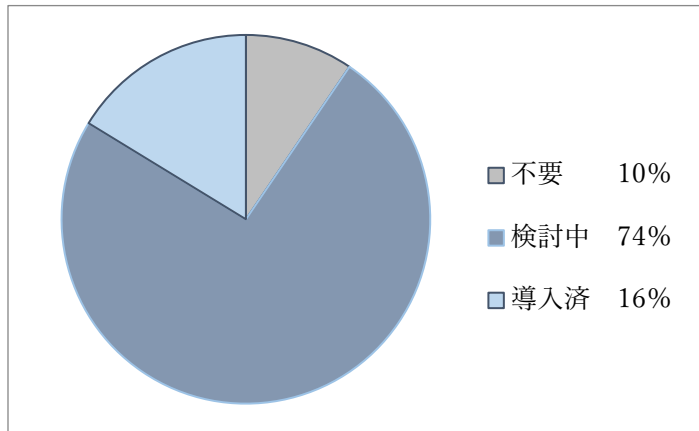
〈スカイベリー pro〉

〈ドコモ/au/ソフトバンク 3社の回線をこれ1台に〉

《スカイベリーpro》は、国内大手携帯電話事業者3社のSIMをスカイベリーproに搭載のスカイベリーAIで優先度に応じて自動的に切り換え、ネットワークの喪失にも柔軟に対応し通信を維持しています。ひとつのキャリアに依存しないキャリアニュートラルなインターネット接続サービスです。

オフィス・防災EXPOは3日間で16,871名の来場があり、会期中に当社のブースを訪れたお客様を対象に【通信におけるBCP対策についてどのように考えるか】という問いに対しアンケートを実施し、次のような結果を得ることが出来ました。

【通信におけるBCP対策についてどのように考えるか】 (調査サンプル 296名)



「不要」10%

仕事で通信を利用していない・災害発生時のみを想定しており、通信障害発生時を想定していない為、必要ない

「検討中」74%

災害発生時だけでなく、通信障害で業務が滞ってしまうことを避ける為に対策が必要だと考えている企業が多い

「導入済」は16%

有線を利用して業務をしている中で、緊急時に備えてモバイルWiFiを契約、複数キャリアを利用している

【 BCP対策の重要性が高まっている一方で導入済の企業は約16%という結果に 】

通信環境は災害発生時、衣食住に次いで重要な生活インフラになっています。”もしも”の備えをしていくことは重要で検討している方は74%いる一方、実際に導入している方は2割にも満たない結果となりました。災害発生時だけでなく、日常にも通信障害のリスクが発生している昨今、通信障害業務が滞ってしまうことを避ける為に対策が必要だと考えている企業は多くあります。検討中と回答したうち、5%が決裁権を持つ方でしたが、導入に至っていない背景としては、「リスクをどこまで考えればいいのか」「どのようなものを取り入れるべきなのか」が見えてきていないのが現状です。

《スカイベリーpro》は、ネットワークの喪失にも柔軟に対応、「可能な限りネットワークへの接続を維持したい」というデマンドを実現するシンプルで堅牢性の高いキャリアニュートラルなインターネット接続サービスです。可能な限りネットワークへの接続を維持させることは、企業や官公庁をはじめ、規模の大小にか

かわらず今後も、高まっていくと考えられます。
詳細はスカイベリーpro 公式ホームページでご確認いただけます。
<https://skyberrypro.jp/>

<本件に関する報道関係者の問い合わせ先>

a2network 株式会社 広報・マーケティング部 佐藤

Tel: 03-5425-8777 Email: contact@a2network.jp